

### 神と仏を結ぶ懸仏

—磯崎神社付近からの出土品—

#### 密接だった神と仏

仏を神の本体とする神仏習合思想の下で、ご神体の鏡のような円形の板に、神々の本体(本地)にあたる仏・菩薩の像を表わしたものを「懸仏」といいます。各地の神社に奉納され、懸けられていました。社殿に仏の像を掲げるといふ点から、神仏習合を最もよく示す文化財の一つといわれます。

昭和二二年一月、磯崎神社(磯)付近の水田中から一枚の懸仏が発見され、長く発見者の自宅で保管されてきました。直径一〇・二センチメートルの銅製の丸い鏡板の中央に、像高三・二センチメートルの銅製鍍金(金メッキ)の本尊・釈迦如来像と薄銅板鍍金の光背を取り付けた作品で、懸仏の基本的な形状です。両肩に一對の半円形の突出部を作り出し、穴を開けて懸けられるようになっていました。鏡面には、他の付属品や銘文などは一切なく、シンプルな作りです。

制作時期は、本尊や光背の造形から、南北朝時代のものとして推定されます。磯崎神社の本地仏の可能性も想定されますが

明らかではありません。水田中からの出土は、明治の廃仏で廃棄されたことも考えられます。米原市は、山岳仏教、神仏習合が盛行した地ですが、多くの文化財が失われ、懸仏の遺存例もわずかです。この懸仏は、小品ながら中世の信仰の様子をうかがわせる貴重な遺品です。

#### 日撫神社の懸仏

日撫神社(顔戸)には、三面の懸仏(市指定文化財)が伝えられています。いずれも、ご神体の少彦名命の本地仏である葉師如来像を表しています。その上には仏に差し掛ける笠・天蓋をつけ、左右に花瓶を配置しています。仏像の足元には扇形を波に見立てた幾何学模様・青海波文を表しています。この模様には未来永劫の願いが込められています。周囲にも飾り金具を多く付けて、全体を荘厳にしています。

このように、鏡面の装飾化が発展するのは室町時代の特徴で、直径も二六センチメートル前後を測ります。また、裏板に墨書があり、永祿八年(一五六五)と同九

年に「今井家政」が奉納したことが分かります。貴重です。同じ懸仏でも、南北朝時代のシンプルで古い様相を示す磯のものとはかなり異なります。

「懸仏」は、一般にはほとんどなじみのない文化財です。神仏習合思想が普及する平安後期から作られはじめ、中世を通じて全国的に広がりますが、江戸時代には絵馬がその代用となります。忘れられてしまった最大の理由は、明治初年の神仏分離・廃仏毀釈で神社から仏教的なものを取り払われ、作品が失われ、その信仰すら絶えてしまったことにあります。

多くの日本人は、年末年始、クリスマスを祝い、除夜の鐘を聞き、初詣に行きます。ご神体の鏡を起源とする円形板のなかに、仏像を表す懸仏は、日本人の宗教観をうかがうことのできる格好の文化財なのです。(歴史文化財保護課)

※磯の懸仏は伊吹山文化資料館で展示しています



▲磯出土の懸仏

### 消費生活相談コーナー

#### 宅配便の不在通知を装う不審メールにご用心!

スマートフォンに「不在のため配達物を持ち帰った」というメールが届き、確認のため記載されたURLにアクセスすると、アプリを取得するよう誘導。アプリを取得してみると、自分のスマートフォンから同様のメールが一斉に送信され、知らない人から頻りに電話がかかってくるように…



#### 消費生活相談員より一言

コンピューターウイルスへの感染や個人情報を悪用される危険があるため、不審なメールやURLは開かない、アクセスしない、安易にアプリをインストールしないなど、十分注意しましょう。

「おかしいな」と思ったら  
一人で悩まず、  
まずは消費生活相談窓口へ  
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口(米原庁舎)

相談専用 ☎52-8088

(受付) 平日9時30分~16時



### 【米原警察署情報】 米原警察署 ☎52-0110

#### 1月10日は「110番の日」

110番



110番通報をする時、した時は…

#### ●ためらわずに通報を

通報は早ければ早いほど、犯人逮捕や事件解決につながります。事件・事故の際はすぐに110番通報してください。

#### ●通報場所に留まってください

駆けつけた警察官が事件・事故等の状況について質問しますので、落ち着いて回答してください。

110番通報の適切・有効活用のため、緊急時以外は  
相談専用ダイヤル「#9110」または米原警察署(☎52-0110)へ!



#### 平成30年市内交通事故数(11月末時点)

件数 98件(-27件)、死者 0人(±0人)

傷者 126人(-25人)

※( )内は前年比